

トルコ為替週報

2022年6月21日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去2週間の動き>

(6月7日～6月20日)

USD/TRY: 16.6350～17.3550

TRY/JPY: 7.59～7.97 (参照値)

過去2週間のトルコ・リラ相場は下落。リラ安の主因は、引き続き経常取引に伴う実需のリラ売りと考えられたが、先行した急落の背景には、エルドアン大統領の6日の発言(「利下げを継続する」)が重く押し掛かっていたものと考えられた。現地時間の9日夜、トルコ国庫財務省は、「本日、新たな経済政策を発表する」との声明を発表。その後リラは急反発、急反落、翌日以降もう一往復、急上昇、急反落と乱高下した。なんらかのリラ売り防止策の予告と、詳細も明らかでないうちのリラ急騰は、昨年末の「為替損失補填リラ預金」予告時から度々繰り返されてきた組み合わせで、ほぼ確実に、流動性に乏しい時間帯にトルコ国営銀がリラ買い(実質的な為替介入)を仕掛けた結果と考えられた。発表された新規政策は、①リラ建商業ローンのための準備率の倍増(10→20%)②外貨預金を提供する金融機関の必要担保に占めるリラ建資産の比率引き上げと長期固定金利国債指定の他、13日には、③輸出金融(rediscount export credits)における、大幅に(注)外貨を売却した業者に対する金利優遇なども付け加えられた。13日以降のほぼ一方的なリラじり安推移が物語る通り、一連の策は、少なくともリラ安防止には成果を挙げられていないようだ。

<過去2週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/10	7:00	失業率	4月	11.3%		+11.2%r
6/13	7:00	経常収支(USD)	4月	-2.74bn	-3.20bn	-5.79bnr
	7:00	鉱工業生産(前年比)	4月	+10.4%	+6.4%	+9.8%r
	7:00	小売売上高(前年比)	4月	+14.7%		+2.7%r
6/15	8:00	財政収支(TRY)	5月	+144.0bn		-50.2bn
6/17	7:00	期待インフレ率(翌12ヵ月)	6月	+37.91%		+33.28%
6/20	8:00	外国人観光客(前年比)	5月	+308.5%		+225.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう5週間の見通し>

(6月21日～7月25日)

USD/TRY: 17.200～18.500

TRY/JPY: 7.40～7.90

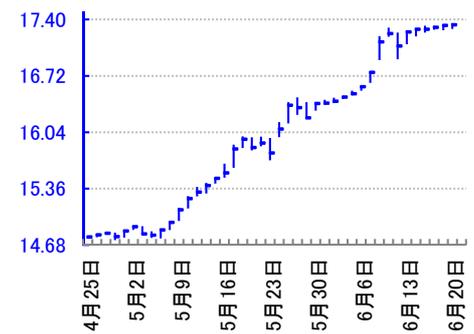
向こう5週間のトルコ・リラ相場は、トルコ国営銀によるリラ買いを受けた局地的なリラ反発の可能性は除外できないものの、大局的には軟調推移継続を予想。非居住者によるトルコ向け対内証券投資がほぼ枯渇した現状で、リラ為替の需給は経常取引と居住者の外貨取引が大半を占めていると思われるが、いずれも方向はリラ売りに傾いており、大局的な流れがリラ反発方向に転じる可能性は見込み難い。上述①～③は、いずれもリラ安抑止を主眼とした策と思われるが、①には、金融機関の貸出提供コストを高め、貸出を抑制するという、(トルコとしては)極めて異例の効果がある。一方、③は、実質的に低金利の与信を提供する結果になり、それぞれの政策は矛盾する。①や②のリラ建証券への需要を高める政策は、確かに一定の成果を挙げている模様で、トルコ長期金利はこの間目に見えて下振れた(国債価格は上昇)ものの、それがリラ押し上げに貢献している様子にはうかがえない。当局の政策運営は、その狙いが分かり難いだけでなく、上記の通り交錯もしており、迷走しているように見える。狙った反応をリラが示さないのも無理ないものと感じられるし、大幅な人事刷新でもない限り、こうした混迷状態を脱するための道筋も描き難いだろう。

<向こう5週間に発表予定の主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/23	11:00	1週間物レボ金利			14.00%	14.00%
6/24	7:00	設備稼働率	6月			78.0%
6/30	7:00	貿易収支(USD)	5月			-6.11bn
7/4	7:00	CPI(前年比)	6月			+73.50%
7/8	7:00	経常収支(USD)	5月			-2.74bn
	7:00	期待インフレ率(12ヵ月)	7月			+37.91%
7/13	7:00	失業率	5月			11.3%
7/14	7:00	鉱工業生産(前年比)	5月			+10.8%
	7:00	小売売上高(前年比)	5月			+14.7%
7/18	8:00	財政収支(TRY)	6月			+144.0bn
7/21	11:00	1週間物レボ金利				
7/25	7:00	設備稼働率	7月			

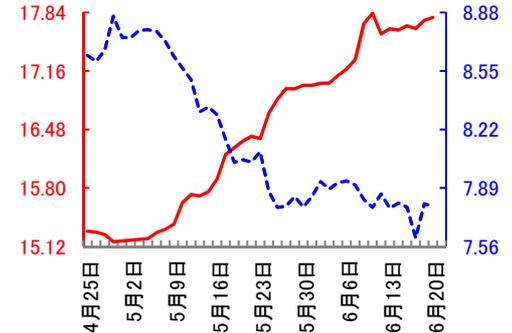
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/TRYの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)



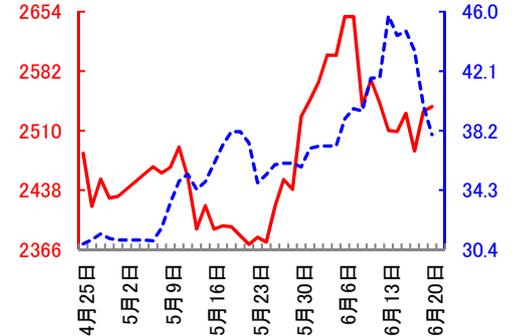
バスケット/リラの推移(トルコ中銀公示)

リラ/円の推移(ロンドン17:00)



株式市場の推移(ISE 100種指数)

長期金利の推移(5年スワップ金利)



(資料:トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レボ金利		14.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1	+7.3%
失業率	4月	11.3%
消費者物価(前年比)	5月	+73.50%
鉱工業生産(前年比)	4月	+10.4%
小売売上高(前年比)	4月	+14.7%
貿易収支(USD)	4月	-6.11bn
経常収支(USD)	4月	-2.74bn

<お知らせ>

筆者休暇のため次回の「トルコ為替週報」は7月26日の発行を予定しております。ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんが、よろしくご承知ください。

(注) 4月以降義務付けられた輸出売り上げの40%に、更にもう30%(合計70%)を売却した場合、政策金利よりも低利でファイナンスを提供する

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。